

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第48号 発行日2007年07月25日

Contents

JN総会で渡辺大臣が講演	1
渡辺講演要旨、白山シンポ記録	2
N700系粘着走行の限界？ 人事	3
霞が関発最新情報(坂村健氏)	4
観光人国記(倉敷市長、御園女将)	5
JN協会6年の歩み①	6
気象神社の話、世界遺産シリーズ①	7
立教支部・上野ツアー、NEW SPOT	8
観光立国・私の提言、COLUMN	9
お得な情報	10
NPOからの提言、あめりか通信	11
お天気の話、会員名簿	12



天領時代に発達した倉敷川沿いの「美観地区」。米や砂糖などの産物を積み下ろしする川舟を新たな観光の風物詩にと、昨年4月から運航が始まった。舟から見る白壁の町並みは、また一味違う。

渡辺大臣「天下り規制で談合防止を」 総会は講演と女性パワーで盛り上がる

北陸新幹線は7年後に金沢へ

松尾氏が白山市シンポでカジノ導入にも触れる



JAPAN NOW 観光情報協会(松尾道彦理事長)は、5月21日午後6時から東京の日本記者クラブ10階ホールで第6回通常総会を開き、平成18年度

事業報告及び決算、19年度事業計画及び予算案、理事1名選任の件について審議し、原案通り承認。記念講演会では渡辺行政改革担当大臣が国家公務員の天下り規制や地域振興について、裏話も交えた分かり易い口調で講演し、この中で渡辺氏は「公務員は優秀な人が多いが、その人材を無駄に配置しているケースが多い。緑資源機構の官製談合などを根絶させるためにも天下り規制は必要だ」と述べた。

約160名が参加し、このうち50名は和服姿も目立つ女性会員で、華やかで賑やかな総会となり、男性会員は女性パワーに圧倒され総会を盛り上げた。女性はJN協会参与で、郷土発展振興会(本部・金沢市)の加藤会長の動員力により全国から集まった会員だった。懇親会も夜遅くまで大盛況だった。

郷土発展振興会(本部・金沢市。加藤愛恵会長)はJAPAN NOW観光情報協会の協力により7月8日、石川県白山市の市民交流センターで第3回「食・心・動による住みよいまち創り」(白山市シンポジウム)を開いた。イベントは第1部が「郷土発展振興会の少子化対策委員会」の講演、第2部はJAPAN NOW観光情報協会の講演「松尾理事長の北陸新幹線・北陸観光の発展策・カジノの導入」と「白澤副理事長兼事務局長のマス・メディアあれこれ」が行われた。約150名が参加して盛況だった。

松尾理事長は講演の中で「北陸新幹線は長野・金沢間が7年後には開業し、北陸は首都圏との時間距離が大幅に短縮され、ビジネスや観光振興に大きく貢献するだろう。カジノの導入は観光発展に欠かせない」と述べた。



5月の総会後の懇親会風景

安倍内閣の切り込み隊長 天下り規制など、次々と飛び出す“渡辺語録”



定刻より早めに現われた渡辺喜美・行政改革担当大臣は、会場前方に陣取った和服姿の女性群を見渡して「美女いっぱい、ワクワク・ドキドキ」と第一声、どっと会場を沸かせた。

本題の『役人の天下り規制』問題については「役人の敵役のように言われるが、官民の垣根を低くして、優秀な霞が関の人材を生かすことに狙いがある。そのお役にたて、ということだ」「世の中が複雑になってきた今、死ぬまで大学、役所、マスコミだけ、というのは困る。その道一筋だけだとバイアスが生じる恐れがあるから。役人が役所の続きのような特殊法人などへ天下る、カンからカン、カンからカンではダメということだ」と難しい問題を、父親の故美智雄さん譲りの独特の語り口で、笑いを誘う。

さらに本論に入りかけたところで、突然ポケットから名刺を取り出し「やたら担当させられている。内閣府特命担当大臣として規制改革、国・地方行政改革、公務員制度改革、道州制。さらに地域活性化担当でもある」と言って注目を引いたあと、地域活性化問題を論じ始めた。

「成功例と失敗例を分析すると、その地域が世界につながっているかどうか、が一つ。北海道の倶知安にオーストラリアからスキー客が押しかけているのは、その好例。もう一つは、地元にある“お宝”に気がつき、それを生かす道で、長浜の黒壁を生かす試みは当たった」など例を挙げ、観光振興にもつながることを示唆した。観光立国を支援するJN協会へのサービスも忘れない。

続いて「（地域活性化を）キーワードで考えよう」と、いくつかの渡辺語録を紹介。

・道は近くにありと孟子は言っているが、身近なところでの創意工夫が大切・一点突破、全面展開・（豪雪を生かすような）逆転の発想・地域を振興するには若者、よそもの（の協力が肝要）・ないものねだりから、ありもの探しへ・第6次産業、次々に実例を挙げていく。なかでも第6次産業という造語は、『農林水産のような1次産業』×『製造業の2次』×「サービス、運輸のような3次」で、『6』となる、ということ、要するに持っている力を最大限に発揮せよ、ということらしい。

そして、前任者がやめて突然来た大臣就任に当たったの秘話を紹介し、「行政改革ははじめ安倍内閣は全面展開している。なかでも役人の天下り規制問題は、包括的かつ横断的な対策が必要で、今の役所の縦割り組織では対応できない。私は、その切り込み隊長役。」と、天下り規制問題など安倍内閣が直面する諸問題に対する積極的な意欲を示していた。

北陸新幹線効果は大きい

松尾理事長が講演、白山シンポに参加

郷土発展振興会主催の「白山市シンポジウム」第2部で講演した松尾道彦・JN協会理事長は、市町村合併で誕生した石川県白山市が一級河川・手取川をそっくり抱えたユニークな街であり、新幹線基地もおかれることに触れた上で、次のように述べた。

「富士山、立山と並ぶ日本三大名山の白山は、世界遺産登録が期待できる。七年後に開通する北陸新幹線は、東京都二時間半で結ばれ、大きな観光効果をもたらすだろう」「カジノは、日本では違法になっているが、ほとんどの先進国は持っている。国民の理解を得ることが先決だが、能登の珠洲市で第一回のカジノ協議会が開かれたことが示すように、能登地区は候補地になりえる。皆さんの熱意が求められる」。

続いて白澤副理事長が、「マス・メディアあれこれ」と題して、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどについて、最近の状況を語った。

これに先がけて開かれた第一部では、金沢市で中華料理店を営んでいる魏賢任（ぎ・けんにん）、プロトン水を開発している三浦晃、京都の弁護士・南出喜久治の三氏が、加藤会長の司会で『食・心・動』に関するパネルディスカッションを行った。

中国・福建省出身の魏氏は「石川県庁近くの金沢駅西地区で『菜香楼』という中華料理店を営んでいる。中華料理には四川、上海、北京、関東など違った味があるので、これらを集めた『中華街』を作りたい。意欲のある方には、コックの紹介をはじめ、手伝っていきたい」と述べた。

三浦氏は「水素（H）と電子からプロトンというものができる。病気のもと、過酸素。我々は、老化とは酸化と捉えている。その過酸素をプロトン水で“中和”すれば、健康体となる。石川の魚をプロトン水で洗い、出荷すれば味もよく、腐敗が遅くなる」と、石川産プロトン洗浄の魚出荷を訴えた。

南出氏は「教育のゆがみというが、本能が悪で理性が善、理性で本能をコントロールできると考えているところに間違いがある。親が子を守るのは、まさに本能。私は本能がハードであり、理性がソフトであると言ってる。もう一点、教育のゆがみを生んだのは、70種もの添加物が入ったハンバーガーのような食べ物をいつも採るような、食のゆがみにも原因がある」と、教育の現状を批判した。（加納）



第一部の講師陣
（白山市民交流センターで）

東京 霞が関の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

2時間25分は粘着走行の限界か

東海道新幹線の「N700系」試乗

リニア中央新幹線の必要性強まる



J R東海、西日本は、7月1日から東京・新大阪・博多を結ぶ東海道・山陽新幹線にカーブ区間でも安定走行が可能な車体傾斜システムを導入した新型車両「N700系」による運転

を始めたが、5月下旬試乗会に参加した。N700系はカーブ区間でも横揺れが少なく乗り心地は快適だが、一番気になったのは東京・新大阪間の時間距離が2時間25分かかり、在来型車両に比べ5分しか短縮できなかったことだ。車輪とレールの摩擦で走る粘着走行による高速鉄道の限界を感じ、J R東海が山梨リニア実験線で実用化テストを行っている超電導型リニアカーによるリニア中央新幹線の早期実用化、営業運転が必要だ。

J R東海、西日本は平成19年度から東海道・山陽区間の「のぞみ」に計23編成を投入し、20年度以降も大量に導入するが、その費用は約2600億円。N700系のもうひとつの特徴は車両の空気抵抗を抑えて電力消費量を700系より19%（東海道区間）低減し、地球温暖化防止をしていることだ。しかし、リニアは超電導磁石に一度電気を送ると半永久的に電流を流し続け、走行中の電力を在来型鉄道のように外部から集電する必要がない。しかも車内の照明やエアコンの電源もガイドウェイの電磁石から車内に流れる電気を使うのでエネルギー効率がよく、この非接触型集電方式は二酸化炭素の発生や石油の消費を抑える効果がある。東京・大阪間の時間距離は航空機の方が優位だが、粘着走行のN700系でもやはり航空機に対抗できないことが分かった。（白澤）

資源開発や安全輸送、漁業権益確保

世界で6番めの海洋大国に海洋基本法

7月に施行 8省庁の行政を統合へ

自民、公明、民主各党の超党派による議員立法として4月の国会で成立した日本の領海と沿岸200カ所の排他的経済水域（EEZ）での権益を守る「海洋基本法」が7月から施行された。東西に長い日本列島は周囲を海に囲まれ、島も多いためEEZの面積では世界で6番めの海洋大国であるが、このEEZでの資源開発や海上輸送の安全、漁業の権益確保を図る

総合的な法律がなかった。しかし、北朝鮮の不審船や東シナ海での中国の天然ガス開発など海洋を巡る紛争が多くなっているため自民、公明、民主各党は海洋基本法を制定し、こうした紛争防止と資源開発、輸送の安全、漁業の権益確保に取り組むことになった。

海洋基本法はこれまで国土交通省、経済産業省、水産庁など8つの省庁が分野別にバラバラに担当してきた海洋政策を国土交通大臣（海洋政策担当相兼務）のもとに一元化し、EEZ内の人工島や天然ガスの掘削施設など構造物の建設を規制したり、安全水域を設けたりしてEEZ内での海の権益を守ることになった。海洋基本法の目的で「海に囲まれた日本は国際協調のもとで海洋の平和的かつ積極的な開発及び利用と海洋環境の保全との調和を図る新たな海洋立国を実現する」と強調している。

事務次官に峰久国交審議官が就任

国交省人事 官房長に宿利正史氏

国土交通省の幹部人事は7月10日発令され、安富事務次官（旧運輸省出身）の後任に旧建設省出身の峰久幸義国土交通審議官が就任し、官房長には宿利正史総合政策局長が就いた。国土交通審議官には竹歳誠官房長、柴田耕介総合観光政策審議官が昇格し、鉄道局長には大口清一鉄道局次長、自動車交通局長には本田勝航空局次長、海事局長には春成誠海事局次長が就任した。

中国支部長に太田広島電鉄社長

「大中国圏の活性化と将来展望」

9月21日、広島で記念イベント

J N協会は、7月12日の企画委員会で今後の活動計画を協議した結果、9月に当協会の10番めの中国支部を広島市に設立することになった。中国支部長には広島電鉄の太田哲哉社長（中国地方鉄道協会会長）の就任が内定したため、9月21日午後2時から広島市の「ホテルJALシティ広島」で「大中国圏の活性化と将来展望」（観光立国フォーラム in 広島）を開き、中国支部総会で太田支部長の就任を承認する。当日は広島県知事、広島市長、石津中国運輸局長らが来賓として出席する予定。講師はJ R東海の須田相談役が「観光」について、国土交通省の春成海事局長が「海洋基本法と新海運政策」について、総務省の担当者が「道州制の課題」について講演する。

広島支部が開設されるとJ N協会の支部は10箇所となるので、これを機会に後日東京で10支部長が参加する観光立国サミットを開く。また11月6日に札幌市で第3回「21世紀は大北海道圏の時代」（観光立国フォーラム in 札幌）を開き、来年初めには宮崎県で観光フォーラムを開催する。（J N協会事務局長 白澤照雄）

東京 霞が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光立国を支える人たち

ユビキタス社会を目指す

東京大学大学院教授 坂村健（さかむら・けん）氏

「ユビキタス技術を観光に利用するということを試みておられます。まず、ユビキタス技術に話をしてください。

「ユビキタスというのはどこにでもあるという意味です。コンピューターがどこにでもあってそれをいろいろなところで活用しようということです。この始まりは米国でベトナム帰還兵のために、テレビに字幕表示を義務付けた。これによりホテルなど公共空間で音を伴わないニュースが提供されて、非英語国民の語学学習が進んだり検索エンジンによる番組検索が進むなどの効果が出てきました。こうした情報通信技術（ICT）については一般的（ユニバーサル）にしなければメリットが出ない。観光だけにこの技術を活用するわけではありません」

「一目が見えない人向けの技術だけでは普及しないというわけですね。観光とどう結びつくのですか？」

「観光振興のためだけのシステムを考えるのではなく地域のコミュニティ形成から障害者支援、物流、ビジネスまで何でも使える情報インフラを整備してその大きな応用として観光を考えるということになります。国土交通省から頼まれて自律移動支援プロジェクトを始めたのがきっかけになりました」

—このプロジェクトの哲学は？

「このプロジェクトは障害者支援だけのインフラではない、ということです。ユニバーサルが大事だということです。次に情報コンテンツは利用者が参加して作るということ。インフラは実証実験が大事ということで始めました。06年度に全国8カ所で実証実験をしました。この中では神戸が大々的に実験をしました。道路、鉄道、商店街などでユビキタス場所情報システムが活用できるかの実証実験をしました。外国人を主に対象者として現在地の場所情報や観光情報を英語、中国語、韓国語でサービスする実験をしました。日本語でも一般の観光客にサービス実験をしました。和歌山県の熊野古道ナビプロジェクトもやりました。

—現在、実用化されているところがありますか？

「島根県津和野では実用段階に入っており、日本語、英語、中国語、韓国語で観光ガイドが入手できたり、店の主人がユビキタス・コミュニケーターから語りかけると、三次元の地図を表示してこの先どうなるかが見えるものもあります。東京では最初に浅草で外人観光客に英語、中国語、韓国語で歴史的なものを説明する実験をしました。上野動物園では実験段階で評判が良くて実用化されています。

このほか、銀座では地下にいるときに、ここを地上に出るとどうなるかのパノラマ写真が出てきたり、和光の時計台を上から見たらどうなるかの映像が出るものもあります。しかし、これからが実用化の本番ですね」

東京都出身。1977年慶応大学大学院工学研究科博士課程卒。専攻はコンピュータ・アーキテクチャ（電脳建築学）。06年学士院賞受賞。YRPユビキタス・ネットワーキング研究所長。1984年からTRONプロジェクトのリーダー。「ユビキタス・コンピュータ革命」（角川書店）などの著書がある。55歳。

日本文化と日本食の発信強化へ 観光立国計画を決定

政府は6月29日の閣議で「観光立国推進基本計画」を決めた。これは昨年12月に作った「観光立国推進基本法」に基づいて作った。日本の文化や日本食に関する情報を海外に積極的に発信することなどで外国人の旅行客を日本に誘致する。このためには今後5年間で観光地を育成するための施策を盛り込んだ。その上で次の目標を設けた。

- ① 2010年までに日本を訪れる外国人を1千万人（06年は733万人）にする。
- ② 日本人の海外旅行客を2010年までに2000万人（06年は1753万人）にする。
- ③ 日本で開く国際会議を5割以上増やす。
- ④ 国内の観光旅行消費額を10年度までに年間30兆円（05年度は24.4兆円）にする。

国土交通省が「観光庁」構想

国土交通省は08年度の予算概算要求と組織・定員要求で観光振興の担当部署を統合して「観光庁」（仮称）を新設する要求を検討している。06年12月に出来た観光立国推進基本法を作ったときに、観光庁を設置することも付帯決議した。この構想は当初は観光政策課など国土交通省で観光を担当する6課集約して発足して、将来的に環境省や農林水産省などの観光担当部署を取り入れてゆく。国交省には海上保安庁など3庁あり、このうち1庁をリストラして作ることになる。

石見銀山が世界遺産に

島根県大田市にある「石見銀山」が6月28日に国連教育科学文化機関（ユネスコ）から世界遺産に登録された。日本では世界遺産は知床に次いで14件目で文化遺産としては11件目になる。「石見銀山遺跡とその文化景観」が認められた。

羽田空港発着10便増枠

国土交通省は6月11日、羽田空港の発着枠を9月1日から10便増やす、と発表した。増加分は10月8日頃から始まる羽田と上海・虹橋空港を結ぶ国際チャーター便などに割り当てる。

観・光・人・国・記

観光客1000万人目指して

矢継ぎ早に施策打ち出す

倉敷市長 古市 健三（フルイ・ケンゾウ）氏



米国ミシガン州立大修士修了。
1979年、岡山県議会議員。
1999年、県議会議員。
2004年5月、倉敷市長当選。倉敷市出身、59歳。

古市健三市長が市長選に出馬した2004年に、マニフェストの一つの柱に「観光客毎年20万人増」と盛り込み、当選すると直ちに観光振興アクションプランの策定に着手した。早くも、その年の12月「観光都市『くらしき』の復活を目指して」と銘打ったプランを公表している。

もともと観光都市として著名な倉敷市は、ほぼ20年前の瀬戸大橋の開通、ざっと10年前のチボリ公園の開業のころ、入り込み客が1000万人に接近したことがある。しかし、第一の波である大橋効果が薄れ第二の波のチボリ公園が低迷し始めると、また観光客が減り、2003年には650万人に。

そんな時期に市長となった古市氏は「観光客を年間20万人増やすことを目標に、プランを実行に移しました」という。『美観地区』の夜間景観照明、電線の地中化、案内表示板の多言語使用など、矢継ぎ早に2005年度予算に盛り込んだ。やることが、実に多い。

ちなみに、『美観地区』というのは、倉敷川沿いにある白壁の町屋・倉庫群で、古くから全国的に知られ、条例で“固有名詞”化している。市長によると、倉敷市はイメージ先行型観光都市で、通過客は多いが宿泊する人が少ない点に問題があった。ライトアップ作戦は「泊って、夜ゆっくり歩いてみてください」ということの表れなのだ。

市長は言う。「しかし、国内客だけでは限界がある。海外からの観光客、中でも中国、韓国を始めとするアジアの人たちに来て頂かないと」。英語は 물론中国語、韓国語の標識を増やしたのは、そこに狙いがある。

「第3の波は？」と聞くと「市制40年、瀬戸大橋20年をきっかけに色々イベントを計画していますが、基本は地道な努力が大切。市内には夕日が美しい鷺羽山、水島の工業地帯、玉島の町並み、倉敷の天領祭りなど資源は十分にあります。こうした資源を生かすため、今年は26の倉敷らしい食材、味、製品、景観である“倉敷ブランド”を選び、全国さらに世界に向けて発信します。倉敷の人はシャイと言われますが、おもてなしの心で頑張ることが、長期的には王道だと思います。それれに、一度に大勢の

人が来て下さるコンベンションの誘致などに、私がトップセールスを進めます」と、観光都市「くらしき」の復活に意欲を見せている。（加納）

自称“女将もどき”の麻紀子さん
ジャズライブで有名な旅館『御園』

和風旅館で音曲とくると、誰もが三味か琴を思い浮かべるだろう。ところが、ここ倉敷の老舗旅館『御園』ではジャズの演奏が聞こえてくるといから驚く。女将・今井麻紀子さん（写真）が10数年前に始めた「御園ザ・ライブ」というイベント。150人は入れる大広間で食事をしながら生演奏を楽しんでもらう。「座敷とジャズと日本酒」とのキャッチフレーズに惹かれ訪れるなじみ客も多いという。

「ウチは温泉旅館ではありませんし、よく知られている白壁の街・『美観地区』とは離れていますので、何かアピールできることをと思って始めたのが当たりました」と麻紀子さん。このイベント、ジャズ演奏ばかりではなくて、ひとり芝居とか朗読会などバリエーションをつけている。多い時には、毎週開くこともある。それ以外にも昼食時にミニコンサートを開くことも、しばしばあるそうだ。

イベントに誘われて来る客はもちろん、旅館本来の食事でも楽しませしてくれる。「御園ブランドのお酒、この地の名物料理『鯛めん』目当てに来て下さる方もいらっしゃいます」とか。『鯛めん』というのは、焼いた鯛と波のように整えた極細ソーメンのセットで、あたかも鯛が波に遊ぶイメージである。

こんなアイデアウーマンの麻紀子さんは、京都での大学時代、カメラに憑かれ家業の旅館を継ぐつもりはなかったそうだが、結局は3代目女将に。和服を着ることもあるが、服装にはこだわらないとのこと。「女将は和服という既定概念にはこだわらないので、女将っぽくないと言われることもあります。で私は、そう“女将もどき”よ、と打ち返します」と笑う。

もともと活動的なタイプで、旅館にべったりいるのは性に合わない、とも。全国旅館生活衛生同業組合連合会の役員はじめ、多い時には両手の指で余るほどの公職についていたこともある。倉敷市の『観光振興アクションプラン』策定委員も務めた。そんな麻紀子女将に倉敷観光を聞くと「この街に来た人がまた来たくくなるような雰囲気を作りたい。いま、旅館の女将さんたちとテレビで対談したり、勉強会を開いたり、お互いに融通しあいながら盛り立てていこうよ、と話合っています」。（加納）

710-0826 岡山県倉敷市老松町3-4-1

電話 086-422-3618 <http://misono21.com/>

JN協会6年の歩み①

2001年4月発足したJAPAN NOW観光情報協会は、7年目を迎え
順調に活動を展開しています。これまでの歩みを振り返ってみます。

JN協会の活動目的

21世紀は世界的な観光交流が拡大し、「観光の世紀」と言われています。政府も官民一体で振興に取り組んでいます。JAPAN NOW観光情報協会は平成13年4月に「都市再生・観光振興・環境保全」を目的としたNPO法人として石原・東京都知事から認証され、活動しています。日本が観光立国として発展するためには、従来の観光振興だけでは限界があり都市の再生、活性化による地域経済の振興や環境保全が必要です。

当協会はこの理念のもと、市民レベルの「第三の社会セクター」(NPO)の立場から既存の「第一の社会セクター」(国、自治体など公的機関)や観光、鉄道、航空、電力、ゼネコンなどの「第二の社会セクター」(営利法人)が発信する都市再生・観光・環境保全情報の補完に取り組んでいます。

JN支部の設立

- ・新宿支部(2001年4月、片山文彦・花園神社司宮が支部長)
- ・北陸支部(2002年10月、水野卓哉・北陸鉄道会長が支部長)
- ・立教支部(2003年12月、支部長は学生会員の持ち回り)
- ・九州支部(2004年3月、長尾亜夫・西日本鉄道社長が支部長)
- ・中部支部(2004年7月、須田寛・JR東海会長＝当時＝が支部長)
- ・神戸支部(2005年3月、岩田弘三・神戸商工会議所副会頭が支部長)
- ・北海道支部(2005年11月、JR北海道会長の坂本眞一氏が支部長)
- ・四国支部(2006年4月14日、JR四国会長の梅原利之氏が支部長)
- ・東北支部(2007年4月13日＝丸森仙台商議所会頭が支部長)



写真は発足メンバー

JN協会の活動実績(講演会)

- 第1回:「国際観光を楽しむ」 平成13年10月22日(月) 基調講演:向山秀昭氏(国際観光振興会長)
- 第2回:「都市の活性化と国際観光」 平成14年1月31日(木) 講演者:カトリーヌ・オーデン氏(フランス政府観光局長ら)
- 第3回:「都市の交流と国際観光」 平成14年5月21日(火) 講演者:羽生次郎氏(国土交通省国土交通審議官)
- 第4回:「北陸新幹線と地域振興」 平成14年10月4日(金) 於:金沢市 講演者:松尾道彦氏(鉄道建設公団総裁、当協会副理事長)
- 第5回:「内外経済事情」 平成14年11月21日(木) 講演者:渡辺 修氏(日本貿易振興会理事長)
- 第6回:「激動する航空業界の現状と今後」 平成15年5月30日(木) 講演者:野村吉三郎氏(全日本空輸会長)
- 第7回:「江戸文化と大道芸」 平成15年 8月10日(日) 於:新宿・花園神社 シンポジウムのパネリスト: 片山同社宮司ら4名
- 第8回:「観光立国と箱根の魅力」 平成15年9月4日(木) 基調講演者:中村徹氏(日本観光協会会長)。
討論者:山口昇士(箱根町長)、金澤悟(国土交通省観光部長)、福川伸次(電通顧問)の各氏。
- 第9回:「九州新幹線の開業に向けて」 平成16年3月1日(月) 於:ホテル日航福岡 講演者:高山博文氏ら
- 第10回:「日本経済の再生と観光立国」 平成16年5月27日(木) 講演者:福川伸次氏(元通産事務次官)
- 第11回:「中部国際空港の開港と観光交流」および「愛・地球博の成功を目指して」
平成16年7月15日(木) 於:名古屋市 講演者:平野幸久氏(中部国際空港会社社長)、中村利雄氏(万博事務総長)
- 第12回:「観光立国と国の安全」 平成16年12月16日(木) 講演者:国松孝次氏(元警察庁長官、前スイス大使)
- 第13回:「21世紀は名古屋圏の時代」 平成17年1月25日(火) 於:名古屋市・銀行協会ホール
基調講演:福川伸次氏
パネラー:奥野信宏、安原敬裕、須田寛、水尾衣里の各氏
- 第14回:「神戸空港開港に当たって」平成17年3月17日(木) 講演者:茨木康男・大阪航空局長、山本朋廣・神戸市港総局参与、神田勉・同市企画調整局参与
- 第15回:「サッカーと観光立国」 平成17年5月24日 講演者:鈴木昌・Jリーグチェアマン(JN通常会員総会のあと) 於:ホテルKKR
- 第16回:「大九州圏観光フォーラム2005」平成17年9月21日(水)。福岡市の西鉄グランドホテルで。渡辺修・ジェトロ理事長ら5人講師
- 第17回:「21世紀は大北海道圏の時代」平成17年11月8日(火)。講師:電通顧問の福川伸次氏(元通産事務次官)、
照明デザイナーの石井幹子氏、国土交通省総合観光政策審議官の柴田耕介氏ら4人。
- 第18回:「大四国圏の活性化と将来展望」平成18年4月14日(金)。講師:機械産業記念事業財団会長の福川伸次氏ら3人。
- 第19回:「地球規模の観光大交流時代ですよ」 平成18年5月19日、第5回通常会員総会記念講演会。講師は岩村・前国土交通事務次官マリ・クリスティーンさん。
- 第20回:「魅力溢れる大中部圏の現状と将来」平成18年7月14日(金)。講師は須田寛・JR東海相談役、金澤博・鉄道運輸機構理事(新幹線担当) 200人参加。翌15日は「かほく市」で、北陸支部主催の講演会(講師:松尾理事長ら4人)120人参加
- 第21回:「第2回・21世紀は大北海道圏の時代」 平成18年11月9日〔予定〕。札幌市で。講師は、鈴木久泰・国土交通省航空局長、小川康則・総務省行政課理事官、大多和巖・農林中金総合研究所社長
- 第22回:「食育・動育・心育による町おこし」「港・横浜と観光」平成18年11月28日(火)。講師は、中尾・国交省港湾局長ら。
- 第23回:「新世紀・大東北圏の活力と魅力を探ろう」平成19年4月13日(金)。仙台市で、講師は須田寛・JR東海相談役ら3人。
- 第24回:「白山市シンポジウム」平成19年7月8日(日)。講師はJN協会・松尾理事長、白澤副理事長、加藤参与ら7人。

ご家庭で神社への参拝気分が味わえる?!

「気象神社Web」サービス

東京・高円寺の鎮守である氷川神社（所在地：東京都杉並区高円寺南4-44-19）の境内に、ひっそりとたたずんでいる小さな社殿があります。この社殿こそ、お天気の神様として日本唯一の存在である「気象神社」で、ここには晴・曇・雨・風・雷・霜・雪・霧などを祈願する神として、知恵の神である「八意思兼命（やごころおもいかねのみこと）」が祀られています。

元々この「気象神社」は、昭和19年4月10日に陸軍気象部内に創建されました。本来なら戦後の神道指令で除去されるはずが、連合軍宗教調査局の調査漏れで残ったために、氷川神社が当局に申請して払い受け、昭和23年9月18日の氷川神社例大祭の際に遷座祭が行われ、現在に至っています。

これほど希少価値のある「気象神社」ですが、これまでは気象予報士試験の合格を目指す一部の方々を中心によく知られている程度でした。しかしながら、天気を祈願することやその恩恵にあずかることは気象予報士試験の合格祈願に限ったものではなく、すべての

みなさまに該当するものであるため、多くのみなさまに神の御加護があることを願って「気象神社Web」サービスが始まりました。

「気象神社Web」サービスでは、「気象神社」の歴史や御利益品の紹介のみならず、カメラを使って「気象神社」の最新現地画像を閲覧でき、遠方のみなさまでも現地の独特の雰囲気味わっていただけるコーナー、気象の理解を深めていただくことができるコラム風おみくじのコーナー、お天気キャラクター「てるてるくん」の紹介コーナー、などがあります。

「気象神社Web」のサービスにより、たくさんのみなさまが現地へ祈願にお越しいただくことに加え、「気象神社Web」に訪問された遠方のみなさま、お忙しいみなさまにも、御加護があることを願っております。

財団法人日本気象協会 蔵田英之



カメラ画像



おみくじ



てるてるくん

「気象神社Web」サービスのインターネットアドレス

<http://www.kisyoujinjya.jp/>

「世界遺産」物語・・・①

「世界遺産」登録と条約の意味

近 藤 節 夫

「世界遺産」とは、地球の自然と人間の知力によって作られた、かけがえのない人類共有の宝を後世へ伝えるために、「世界遺産条約」としてユネスコ加盟国により1972年批准、1975年制度発足によって保護されることになったグローバルな人類の遺産である。本年7月時点でその数は851件あり、内訳は文化遺産660、自然遺産166、複合遺産25からなっている。

そもそもそのきっかけは、エジプト・ナイル川沿岸のアブ・シンベル神殿

(写真)が、アスワン・ダム建設により水没することを危惧した、当時の考古学者や世界中の考古学ファンの熱い保存運動によって、神殿が近くの台地へ移設されることにより、ほぼ原型のまま保存されたことに始まる。

僭越であるが、筆者はこれまでに140箇所ほど国内外の「世界遺産」を訪れた。いずれも一見オーラを感じて感動するものばかりであるが、地球温暖化、二



酸化ガス排出、自然災害、核戦争の脅威、文化財への無関心などにより、文化財も危機に瀕しており、貴重な文化財の荒廃を臨場感として感じたことが一再ならずある。幸いこのような文化遺産保護制度が軌道に乗ったことは、人間の知恵と科学が発展すればするほど、皮肉にも地球が壊滅の方向へ向かう時代に、人類の財産を保護し原点へ還るという素朴な気持ちを形として表わすことになり、少しでも文化財保護の啓蒙と自然回帰への大きなうねりが押し寄せるよう、われわれも微力を注ぎたい。

さて、案外混同されやすいのは、1つの都市が文化遺産として登録されても、それは必ずしも単一の文化財というのではなく、中には複数の文化遺産を総合的に「世界遺産」として看做す文化遺産も多いということである。1箇所1件ではなく、京都のようにいくつかの文化遺産をまとめて登録されたところもある。

また、「世界遺産」的価値のある文化的遺産でありながら、国連未加盟国だったり、「世界遺産条約」批准国（2006年1月現在で182カ国）でないために、世界の秘宝がその価値を認められないものもある。その最たるものに、ミャンマー中部高原の草むらに、部分補修だけで放置されたままの11～3世紀パガン王朝の一大遺跡群がある。

次号から「世界遺産」についてあれこれ思いを巡らしつつ、旅行ジャーナリストの視点から捉えた非公式なトピックスや、本当の話？を紹介したいと思う。

上野ツアー

Nuggets Of Hospitality

麓 理沙



5月27日、汗ばむ陽気の中、私たちは上野に行ってきました。参加していただいた外国人ゲストの数は21名、私たちホストは12人という、総勢33人という大人数となりました。今回は上野という外国人にもかなりの知名度

がある地で、これぞ日本というものに触れてもらいます。

まず訪れたのは下町風俗資料館。ここは1階が昭和初期の日本の家屋を再現したスペース、2階が展示や昔ながらのおもちゃなどで遊べるスペースになっています。この資料館のすばらしいところはすべて実際に触れて遊ぶことができるという点です。家具や道具には使い方の解説もついており、初めて目にする人でもどんなものなのか分かるようになっています。ゲストにとってはもちろん、現代っ子のホストにとっても貴重な体験となりました。

昼食を済ませた後は湯島天神へ。この日湯島ではお祭りがあり、境内は出店や訪れた人々で大にぎわいでした。過去のゲストでもお祭りに行ってみたいという方は多く、日本のお祭りは外国人にとってとても興味があるものようです。この日もみんなで出店で買った杏飴をはおぼったり、おみくじを引いたりとお祭りを充分満喫しました。

お祭りの後は旧岩崎邸へ移動しました。かの有名な

三菱の創始者岩崎弥太郎の邸宅です。しかし日本人にとっては有名な彼ですが、ゲストさんたちには「誰？」という感じでした。そのせいか建物の中もあまり興味のないように早足に通り過ぎていました。このときにもっと彼についての説明や、建物にまつわる話をしてあげればよかったなと思いました。知らないものを突然示されてもなかなか興味を持ちにくいものです。少しの知識が物事をよりおもしろくするのはこういうことなのだとあらためて思いました。

この建物では見学だけではなく抹茶と和菓子をいただけます。今回のツアーの目玉としてみんなでいただくことにしました。抹茶初体験のゲストさんが多く皆おそろおそろ挑戦していましたが、「おいしい！」と好評でした。

最後に西郷さんの前で記念撮影をしたのですが、これまた西郷さんを知らないゲストさんがほとんどでした。今回のツアーで自分たちが当然のように知っていた歴史上の人物も外国人にとってはそうでもなかったということに気づきました。自分たちにとって当たり前のことが他の国にとっては当たり前ではない。その「当たり前」なことこそ文化なのだなあと感じました。国際交流をする上では基本的なことでしょうが、基本こそ忘れがちです。今回気づいたことを今後のツアー作りにいかしていきたいと思いました。

NEW SPOT

in japan

③

箱根関所復元

東海道・箱根関所の復元が完成し、連日平均2,000人の見学・観光客が訪れている。江戸初期の1619(元和5)年ごろ二代将軍秀忠の時に設置され、250年後の明治2年に全国の関所廃止で跡形なく壊された。解体直前の詳しい江戸末期の文書が24年前に見つかり、箱根町は文化庁などの協力で発掘調査を進め、関所全貌を解明した。2004年に一部復元公開し、07年3月、監視小屋の外屋番所再現で完成した。総工費30億円。全国から宮大工を募り、杉やケヤキの巨木を使った豪壮な造り。松を焼いた粉炭に柿渋を練り込んで、全体に墨黒の塗装を施した。

箱根関所は「出女(でおんな)改め」といって特に女性を厳しく検問した。大名の妻を人質として江戸居住させ、逃亡を阻むためだったが、冤罪に遭った庶民の婦女子もいたらしい。関所の歴史に



芦ノ湖畔に完全復元された箱根関所と遊覧船

起こしながら杉木立の小道を歩いて15分、元箱根にエッセイスト玉村豊男さんが開いたばかりの美術館を訪ねた。併設レストランでピッツアをほおぼり、旅の自由を謳歌する喜びに浸った。

小田急の箱根フリーバス利用が便利。新宿からなら5,500円。推奨ルートは、箱根湯本(または小田原)―[登山バス]―関所跡―[徒歩]―元箱根―[海賊船]―桃源台―[ロープウェイ]―早雲山―[ケーブルカー]―強羅―[登山電車]―箱根湯本(小田原)。正味約3時間。乗り換え待ち時間も少ない。

(写真・文 林 莊祐=会員)

観光立国と私の提言3

米金融機関と旅館再生に取り込む

軽井沢の星野リゾート社長に聞く
JN会員 伊藤和子

今回は、米大手金融機関ゴールドマン・サックスと温泉旅館の再生に取り組む星野リゾートの星野佳路社長に話を聞いた。

星野社長は、生家である軽井沢の星野温泉旅館ホテルを“もうひとつの日本”をテーマにした滞在型温泉旅館「星のや 軽井沢」に変貌させる一方、石川県山代温泉の「白銀屋」や伊東温泉の「湯の宿 いづみ荘」など全国各地の温泉旅館やスキー場の再生を手掛けている。

星野社長は、こうした旅館に一泊二食付の宿泊料金を2万5000円から3万円と高めの値段を設定している。「一泊1万3000円から1万8000円ぐらいの価格帯の旅館は供給過多だが、高グレードの旅館は需給が逆転している」ためだ。狙いは現役のプロフェッショナル。海外からの旅行客も日本独特のサービス要素を持つ温泉旅館への期待は大きいとみている。退職世代は呼び込めないとみている。

この資金の出し手がゴールドマン・サックス。ゴルフ場の再生では100以上のコースを傘下に収め、日本最大のゴルフ場運営会社となり、東京都心部の不動産投資なども進めていたゴールドマンが、セミナーで星野社長が語ったリゾート経営の話に興味を持って、両者の関係が始まった。まだ手掛けた案件は10件足らず。しかし徐々にスピードを上げ、今後

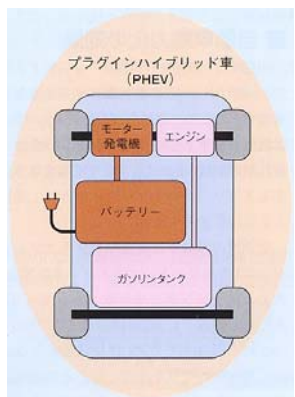
3年ぐらいの間に30件程度を再生させたい考えた。星野社長は、「世界に年間3000万人以上の観光客が来る国が5カ国もあるのに、日本はたった700万人。グローバルスタンダードのサービスを提供しようと努力してこなかったのが最大の原因だ」と語る。



軽井沢の旅館経営の経験を持ち、ホテル経営学で有名な米国コーネル大学で学んだ星野社長のリゾート再生に全国から熱い視線が集まっている。

系統電源から充電のPHEVカー ハイブリッド車よりも低環境負荷車

電力中央研究所によると、地球温暖化防止のため各種エコカー（低環境負荷自動車）が開発されているが、最近はハイブリッドカーをさらに進化させたプラグインハイブリッドカー（PHEV）が注目されている。PHEVは系統電源から充電し、その電力を運動エネルギーに変えて利用することから輸送部門の本格的な電力化をもたらし、省エネや脱石油にも効果的とみられる。充電には料金の安い夜間電力などを使用すれば二酸化炭素の削減の効果があると期待されている。



C O L U M N

檀一雄旧宅

過日福岡へ行った折りに、市営の定期船で小さな島、能古島（のこのしま）へ渡った。バスで狭い一車線道路を上りつめたところに、起伏の多い花園公園がある。花の季節になると園内の花が一斉に開花する。しかし、意外に知られていないのが、この島にはかつて無頼派作家・檀一雄が住んでいたということである。檀の旧宅へ行ってみた。島の人の言うままに目指す方向へ向かったが、島の人と道しるべの説明感覚が合わず、ようやく辿り着いた。道路からちょっと坂道を登った小高い丘の上に、大きな木陰に隠れるようにひっそり建つ小さな家で、戸は打ち付けられ、荒れ果てたあばら屋だった。だが、ここから見透す海の景色は、中々味わいのあるものだった。ここで詠んだ句に‘モガリ笛 幾夜もがらせ 花二逢はん’というのがある。冬になると相当強い風が吹くようである。檀はここで自堕落な生活に浸る一方で、英気を養っていたとも言われている。惜しいことに、今年5月の‘花逢忌’の際、老朽化したこの旧宅も年内に取り壊されると公表された。

6年前ポルトガルのリゾート地サンタ・クルスを訪れた。ここにも檀一雄が出没？した。大西洋に沈む夕陽に魅せられた檀は、この断崖上の街で、酒蔵に通い、土地の人びとと交流しながら1年半も暮らし、日本へ帰るや一気に‘火宅の人’を書き上げた。いま「檀一雄通り」に沿ってその家は見事に保存されている。いまでも檀を知る人びとは、檀を懐かしんでいるという。檀と交流のあった人たちはみんな好人ばかりなのだ。住みやすい環境と温かい心が、放浪作家の心をとらえ気持ちを癒したのだろう。

能古島を離れるとき売店のおばさんに、檀一雄旧宅へはこのように道案内した方がよいでしょうとおせっかいなアドバイスをしたら、素直にそうしますと応えてくれた。檀が気に入るわけだ。みんな好人ばかりだ。

（近藤）

お得な情報

日本でみつけた世界おいしい物語

アルゼンチン料理 エル カミニート

アルゼンチンの首都ブエノスアイレス。街の南に位置するボカ地区には、「カミニート」と呼ばれる小道があり、色鮮やかなペンキが塗られた家やカフェが立ち並び独特の景観をつくる小道は、長く文化人に愛されてきた。この小道を舞台に作られたのがタンゴの名曲「エル・カミニート」。曲と同じ名前のレストラン、エルカミニートは、やはり麻布の路地裏にある。タンゴの哀愁に満ちた感傷的な音楽が心地よいボリュームで流れていて、シックな空間で料理が楽しめる。メニューにはピザやパスタなどもあり、イタリア移民が多いアルゼンチンの食文化をあらわしているが、やはり本家本元のアルゼンチン家庭料理を味わうことをお勧めする。最も有名なのが「アルゼンチンの肉包み」で1個700円小麦粉と水で練った生地にも牛ひき肉と玉ねぎなどの野菜を炒めたものをスパイスで仕上げ、レーズンとともに包んで焼き上げたもので、いわゆるミートパイ。背あぶら入り自家製豚の血のソーセージ「アルゼンチン風血のソーセージ」900円や「自家製チョリソ入りのレンズ豆の煮込み」1200円も代表的な料理である。ソーセージは炭火焼料理アサードで調理される。「パプリカのオープン焼き」840円もニンニク風味でおいしい。アルゼンチンはじつはワイン王国である。

東京都港区東麻布1-12-11 TEL 03-3582-9380
日曜・祝日休み (大島 慎子)

東京都内初―道の駅八王子滝山

今年の4月1日にオープンした「道の駅・八王子滝山」。従来の「立ち寄り型」から、コンビニ感覚で利用できる「都市型施設」が特徴。

まず地元の奥様方のお買い物のために駐輪場を用意。安心・安全な食生活を応援するという。

物産販売コーナーでは八王子の特産品、お土産、日用雑貨まで取り揃え、地元の農産物直売所「ファーム滝山」では新鮮で安全・安心な農産物を用意。

地元産食材を利用したフードコート「八農菜」には野菜をふんだんに使った“やさいうどん”の「小麦家」。八王子ラーメンを中心とした「葱蔵」。コクのあるスープカレーが人気の「洋食森村カレー堂」。など野菜にこだわった3つの専門店がある。また、本格的エスプレッソマシンで香り高いコーヒーが楽しめるカフェショップ「Cafe' La Gita(カフェ・ラ・ジータ)」では、焼き上げたパンに地元野菜を挟んだサンドイッチがある。地元の酪農家によるアイスクリーム工房、アイスジェラート「ミルクアイスMO-MO」はイタリアのアイスクリームマシンを用いて自家製アイスを提供。さらに地元で農業を営むお母さんがお客様の健康に気遣って作ったおかずを提案するおそうざい「はちまきや」など地元八王子満載の道の駅である。

場所は、中央道八王子ICから国道16号線を川越方面に向かい約5分。JR中央線・京王八王子駅下車、車で10分。営業時間：午前9時～午後9時。

電話：042-696-1201

(堤るり)

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいていた「JAPANNOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。4月に完成した2007年度版は、日本全国のホテル110館55,000室の客室に常備されています。



日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって生き生き伝えることが、「JAPANNOW」誌の編集方針です。2007年度版は、日本の伝統文化のスタンダードである茶の湯の大成者とその故郷である中世の国際交易都市に焦点を当てた「堺と利休」、および現代に

まで生き続ける日本的自然観を紹介する「日本のナチュラルヒストリー」という2つの特集を中心に構成されています。また筑紫哲也氏への巻頭インタビュー「道草のすすめ」も収録しました。

1部2000円(送料別)で購入できます。お問い合わせは株ジャパン・ナウへ。電話・FAX 03-3536-1751



[会員募集]

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階
JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)
へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2007年9月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2007年9月25日。締め切りは9月15日。

NPOから提案します

観光の感情

高崎経済大学観光政策学科教授 寺前秀一

観光概念は、遊興的概念でとらえられる時代においては自国民に対してはしばしば抑制すべきもの(外客に対しては誘致すべきもの)となった。その限りにおいては政策対象としても抑制すべきものとなった。しかしながら抑制すべきものとして捉えられることがなくなった今日においても、観光概念は、文化概念、環境概念等のように特別の政策的機能を持つ概念として存在するものとはなっていない。観光概念の中核である観光資源は、観光立国推進基本法においては、史跡、名勝、天然記念物等の文化財、歴史的風土、優れた自然の風景地、良好な景観、温泉が代表的なものとして例示されている。例示されたものは、文化財保護法、古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法、自然公園法、景観法、温泉法においてそれぞれ観光以外の法体系により範疇化されているものであるが、観光資源の法的範疇化は行われていない。観光の政策的機能は明文化されておらず、敢えて推察すれば国威(地域威)発揚の機能が考えられる。

生物の進化の過程で「言葉」が全く新しい質の能力として人間に突然現れたとは考えにくい。「感情」がまず存在し、「感情」を媒介に「知」が発生し、この「知」を操作して「意」を実現しているというのが心の動きである。手話も補助言語のようなものではなく、完璧な自然言語であると言われている。手話の脳基盤は健聴者と同じく脳の左半球にある。従って「言葉」は聴覚や視覚などを動かしている神経システムを超えた水準のものであるということになる。

「言葉」というものが特別の器官により実現される

もの出はなく、唇、舌、鼻腔、咽頭、肺等別の目的を持った様々な器官を使って実現されるように、観光も文化、歴史、環境、自然、娯楽等の様々な概念を使って説明されるものである。このことから、観光を規範性のある法制度として構築することが困難であるという結論が導かれるのではなかろうか。(本稿は「心とことばの脳科学」(山鳥重・辻幸夫 大修館書店発行)をもとに記述している)

あんな話 こんな話

ホテル？いや市庁舎です

倉敷市の市庁舎。1980年に出来上がった時は、某大新聞からこっぴどく叩かれたという。税金を使ってホテルみたいな建物を作った、ということだったらしい。市役所は「くすんだ色」がいいとは限るまい。

木々の中に浮かび上がるカラフルな建物は、緑に映えて美しい。観光都市・倉敷の代表的な建築物といってもいいのではないかな。

高層棟は、市長や総務などの管理部門が入っており、二階建てのフロアは市民と接するサービス部門がある。全体が一望に見渡せて、開放感もある。



全国を歩いているが、そんじょそこらでは見られない景観で、倉敷にピッタリと私は思った。(加納)

あめりか観光通信 その13 ～野外コンサート～

お勧めの野外コンサート

この夏、アメリカ旅行にいらっしゃる方も多いのではないかとアメリカへの旅行促進を担当している私としては大いに期待していますが、私のお勧めは各地で開かれる野外のコンサート。演奏するアーティストやオーケストラは一流の人たちですが、音楽を実に気軽に楽しめるのはなんともアメリカ的。

たとえばニューヨーク市では7月、マンハッタンにあるセントラルパークを初めとして、5つの地区にある公園のなかでニューヨーク・フィルハーモニーの無料のコンサートが開かれます。

また、ニューヨークから車で北東へ3時間、ボストンからは西へ2時間半ほどのマサチューセッツ州西部の町、タングルウッドではボストン交響楽団とボストンポップスが夏の音楽祭を開催します。

格調高いオーケストラの演奏から、映画音楽やジャズまで幅広く演奏されるのが特徴です。こちらは有料ですが、広い芝生に座って聞くこともでき、ワイングラスを片手にピクニックのような雰囲気を楽しむ人たちの姿も多く見られます。6月末から始まる音楽祭ですが、終わりは9月の初めのジャズの演奏の3日間です。



昼間はゴルフでも楽しんで、夕方涼しくなった気候の中で静かに音楽を楽しむ、おしゃれな休日を是非満喫してください。

(井上嘉世子)

台風と元寇

7月としては超大型と言われた4号は、沖縄はじめ全国に被害をもたらした。

台風の爪痕も生々しいなかで、今度は新潟・長野地方で地震が発生した。天災は忘れた頃にやってくるというが、こんなに連続しては「忘れた頃」が死語になるような気がする。

さて、台風と言えはすぐ思い浮かべるのが、1281年の元寇（弘安の役）で蒙古軍10数万人といわれる溺死者を出した事件。おそらく、日本史上最大の猛威を振るった台風ではなかったか。その前の第一次元寇も台風に救われており、国難を救ったカミカゼとしても有名だが、以来、



蒙古襲来画詞より

「カミカゼ」頼みの“神国ニッポン”となり、後世に影響を及ぼした。

第2次大戦のあと、「キャサリン」とか「ジェーン」といったアメリカ女性の名を冠した台風が何度か日本を痛めつけた。戦時中の米軍の猛爆の記憶と重なって、「台風怖い」の印象を強く与えたものである。

その後、「伊勢湾」とか「狩野川」、「枕崎」といった地名を付けた台風の記憶を鮮烈。なかでも、青函連絡船が遭難し1761人の死者を出した1954年の「洞爺丸台風」は、歴史に残る事件となった。

2004年に日本に上陸した台風が10件におよんだが、これも記録に残る限り最多。地球温暖化の影響なのだろうか。

（日本気象協会執筆の記事はスペースの関係で、今回は7ページに掲載しました。この欄はピンチヒッター・加納執筆です）

会員名簿

（敬称略）（個人会員名簿は公表していません）

名誉顧問：松山善三（映画監督）

理事長：松尾道彦（日本海事センター会長、前日本鉄道建設公団総裁）

顧問：丹羽晨（前理事長、日本空港ビルデング顧問）

副理事長：白澤照雄（JN協会事務局長）、岡村進（元小田急トラベル社長）、橋元雅司（元国鉄副総裁）、

横山善太（株JALUX特別顧問）、大島慎子（筑波学院大学教授）、小竹直隆（元JTB専務）

須田寛（東海旅客鉄道相談役）

支部長：片山文彦（新宿）、水野卓哉（北陸）、田久保万里夫（立教）、長尾亜夫（九州）、

須田寛（中部）、岩田弘三（神戸）、坂本眞一（北海道）、梅原利之（四国）、丸森仲吾（東北）

【団体会員】（2006年07月25日現在）

（株）朝日ネット、（株）アドバン、荒井建設（株）、アンデス電気（株）、安藤建設（株）、池田煖房工業（株）、（株）伊勢丹、（株）井六園ワールド、岩田建設（株）、（株）エスシー・マシーナリ、（株）H K I アクシス、（株）大林組、隠岐の島町（島根県）、（株）奥村組、小田急建設（株）、小田急電鉄（株）、（株）小田急トラベル、鹿島建設（株）、鹿島道路（株）東京支店、大阪国際空港ターミナル（株）、関西電力（株）、九城企業（株）、（株）九電工東京支店、九州電力（株）、九州旅客鉄道（株）、（株）熊谷組、（株）グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄（株）、（株）耕人舎、国光施設工業（株）佐川サポートサービス（株）、三協アルミニウム工業（株）、（株）三普旅行社、四国電力（株）、四国旅客鉄道（JR四国）（株）、清水建設（株）、（株）ジャルセールス、（株）J A L - D F S、（株）J A L U X、（株）J T B、（株）ジェイアール貨物・リサーチセンター、消音技研（株）、新菱冷熱工業（株）、常磐興産ピーシー（株）、住友電設（株）、（有）西洋館センター、静和堂竹内印刷（株）、（株）銭高組、全日本空輸（株）、総合パーキング建設（株）、セントラルリーシングシステム（株）、第一交通産業（株）、第一資材（株）、（株）大気社、大興物産（株）東京支店、大成建設（株）大成サービス（株）、大成設備（株）大成ユーレック（株）、大鉄工業（株）北陸支店、大日産業（株）、（株）高尚、高砂熱学工業（株）、（株）竹中工務店、（株）丹青社、中部電力（株）、ティーシートレーディング（株）東京支店、電研工業（株）、東海旅客鉄道（株）、東急建設（株）、東京急行電鉄（株）、東京国立博物館、（財）東京観光財団、東京電力（株）、東光電気工事（株）、東芝エレベータ（株）、東北電力（株）、トーヨーカネツソリューションズ（株）、戸田建設（株）、名古屋鉄道（株）、西日本鉄道（株）、西日本旅客鉄道（株）、（株）西原衛生工業所、西松建設（株）、日墨ホテル投資（株）日本オーチス・エレベータ（株）、（株）日本海コンサルタント、日本空港ビルデング（株）、（株）日本航空インターナショナル、（財）日本交通文化協会、（社）日本添乗サービス協会、（株）日本プラント建設、ネスレジャパングループ、箱根町（神奈川県）、箱根建設（株）、東日本旅客鉄道（株）、（株）日立ビルシステム、（株）日立製作所、（株）ビッグウイング、福岡空港ビルディング（株）、富士機材（株）、藤長電気（株）富士通（株）、プラネットワークス（株）、（株）フィールドサービス、北海道旅客鉄道（株）、北海道電力（株）、北陸電力（株）、北海道空港（株）、（株）ホテル小田急、（株）ホテルメトロポリタン、前田建設工業（株）、（株）ホテルマリックス、マイナミホールディングス（株）、三井住友建設（株）東京建築支店、三菱電機（株）、（株）ミルックス、（学）森谷学園、（株）山武ビルシステムカンパニー、有楽土地（株）、（株）USEN、横浜貨物総合（株）、横浜ビル建材（株）、（株）ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング（株）、りんかい日産建設（株）

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

JAPAN NOW

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄（JN協会事務局長）

編集長：加納 隆（JN協会理事）

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

「飛ぶ鉄道・超電導型リニアモーターカーによるリニア中央新幹線的首都圏・中京圏の実用化、営業運転が2025年から始まる・・・」。こんな明るいニュースが4月、飛び込んできた。筆者は「リニア中央新幹線」や「リニア新時代」を現し、講演会にも出たほどの自称、リニア狂。「まさか・・・」と一瞬自分の耳を疑ったが、やはり本当だった。山梨リニア実験線で実用化テストを続けるJR東海の松本社長が明言したのだから。超電導型リニアは日本のオリジナル技術であり、55万キロに及ぶ走行テストで安全性、正確性、快適性が実証され、時速581キロの世界記録を達成した。石原東京都知事は運輸大臣のころ「新しい文明開花にはリニアを」との発想で当時の大蔵省からリニア予算を獲得し、山梨に実験線を建設した。著者の本に「平成の時代に光より早く」という推薦文を寄せていただいた。その石原氏の先見の明に感謝。「一念、石をも通す」（白澤）